

Data(2013年3月現在)

所在地：〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

スタッフ：岸恵美子(教授)、麻生保子(准教授)、
野尻由香(准教授)、望月由紀子(講師)、下園美保子(助教)

URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/>



帝京大学

医療技術学部看護学科地域・公衆衛生看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

帝京大学は10学部26学科をもつ大規模な大学ですが、看護学科は2005(平成17)年4月に開設され、医学部・薬学部・医療技術学部の医療系3学部が揃う東京都板橋区の板橋キャンパスにあります。板橋キャンパスは2011(平成23)年3月に新大学棟が完成し、最新鋭の実習・演習施設や図書館、カフェといった恵まれた学習環境が整いました。同キャンパス内の医学部附属病院とのネットワークや学部間の連携をとおり、チーム医療を重視した医療技術者の養成を使命に、看護師・助産師・保健師を養成しています。

Education

どのような教育をしていますか？

私たちの領域では「公衆衛生看護」と「在宅看護」の両方の分野を教育しています。そのことにより、看護基礎教育においても、地域で生活する人々を幅広くとらえることができ、将来、トピックスや問題に対応しうる講義や演習の構成を工夫し展開しています。実習では、在宅療養者と家族のみでなく、療養者を取り囲む地域の特徴がとらえられるように工夫しています。2014(平成26)年度の実習からは、保健師選抜制が導入されます。現在はその移行措置期間として、東京23区内で保健センター、地域包括支援センター、産業保健、学校保健の多様なフィールドで学べる実習を展開しています。

Research

どのような研究活動を行っていますか？

私たちは地域保健や産業保健分野、福祉分野など広い分野における長年の保健師経験を生かし、セルフネグレクト高齢者、機能不全家族、健康増進計画策定や評価、産業保健における睡眠や看護教育の評価など、保健師活動の現場に存在する課題から保健師養成教育の分野までの幅広いテーマに対し、成果を現場に還元できるような研究をめざしています。また研究方法においても、研究テーマに合った研究方法や解析方法を選ぶようにしており、質的研究と量的研究をバランスよく用いた研究活動を推進しています。

Collaboration

地域の保健活動の現場とのつながりは？

所在区の板橋区と近接の北区とは、講義やボランティア活動の場の提供など、学生自らが公衆衛生活動における現状の問題点に触れることができるようご協力をいただいています。両区とは2011年度に包括協定を締結したことから、今後は医療系学部を合わせもつ大学として情報を発信できるように取り組んでいきたいと考えています。

また、領域の研究テーマである高齢者虐待に関し、看護職のための研究会を定期的に開催しています。都内・近県の市町村の会議・研修会の講師などに伺うこともあり、現場のさまざまな問題を大学での保健師教育に還元できるよう研鑽していきます。

ひとこと

過渡期にある保健師教育、住民や対象者とともに作りあげていく保健師活動の醍醐味を学生にたくさん伝えられればと、教員一同、日々がんばっています。現場の保健師さん、他学の先生方、一緒に魅力的な保健師をたくさん育てましょう！

……岸

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp